

注意

医師・薬剤師の指導のもと、下記の事項に注意して使用してください。

- 本剤の成分で過敏症を起こしたことがある方、アスピリンぜんそくのある方または起こしたことがある方は使用しないでください。
- 気管支ぜんそくのある方は使用前に医師または薬剤師に相談してください。
- かゆみ、発疹・発赤、かぶれ、胃不快感などの症状があらわれた場合には、使用を中止し医師または薬剤師に相談してください。
- 妊娠または妊娠している可能性のある方は医師または薬剤師に相談してください。
- 傷口、粘膜、湿疹または発疹のある部位には使用しないでください。
- 入浴する際は、本剤をはがしてからお入りください。
- 正しく安全に使用していただくため、処方された患者さん以外の方は使用しないでください。

保管上の注意

- 開封後はチャックを閉めて保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 直射日光や高温の場所をさけて保管してください。

医療機関名



2021年6月作成 N202100318

ロキソプロフェンナトリウムテープ 50mg/100mg「日医工」 の貼り方

(テープ剤：経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤)

ロキソプロフェンナトリウムテープ50mg「日医工」



ロキソプロフェンナトリウムテープ100mg「日医工」



このテープ剤のウラ面のフィルムは3分割されています。

最初に真ん中のフィルム①をはがして接着できますので貼りづらい首・肩・ひじ・腰もご自分で貼ることが可能です。



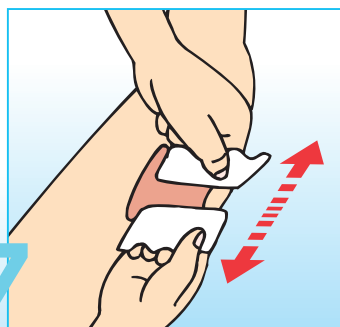
- はがすとき、貼り替えるときは...
はがしにくく、無理にはかきず、水やぬるま湯で濡らせて、ゆっくりはがしてください。
皮膚を押さえながらゆっくりに長辺方向からはがすようにしてください。またカドから、くるくる巻きながらはがすのも簡単です。
一般的に、お風呂上がりには貼ると良いとされています。入浴時にはかき、お風呂を出てから新しく貼るとよいでしょう。
- 毎回、同じ場所に続けて貼る場合はカブレ防止のため、1～2時間おけて皮膚を休ませるとよいでしょう。



全体にピッタリと貼ります。皮膚になじむまでしばらく押さえます。



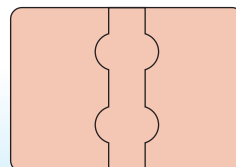
両手を使い、両側のフィルムをゆっくりはがします。



《貼るときのアポイント》
患部を清潔にして貼ってください。汗をかいている時は、汗をよくふき取ってください。
お風呂上がりに貼る場合は、汗が止まってから貼ってください。
痛みのある部位をおうように貼ると効果的です。



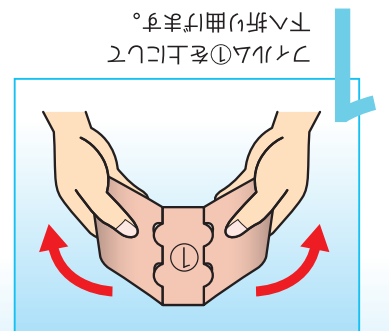
両側のフィルムはそのまま中央部だけ患部に貼ります。



3つに分かれるフィルム



① 真ん中のフィルムだけをはがします。



フィルム①を上にして下へ折り曲げます。

いろいろな貼り方

---- 切り込み線

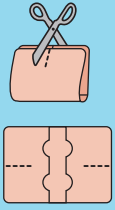
- 首や肩・ひじ・ひざ・足首などに貼るときは、下図・次頁のように、
- 患部をおおうように、体のカーブにそわせて伸ばしながら貼ります。

はさみで切り込みを入れると、動きにフィットしてはがれにくくなります。このとき、伸びる方向をテープの長辺にあわせると効果的です。

「首・肩」編

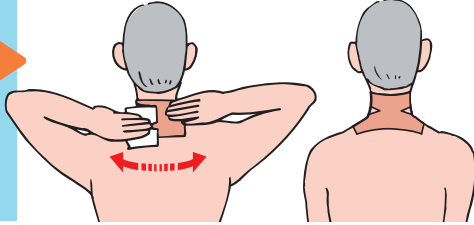
首から肩にかけて

切り込み方



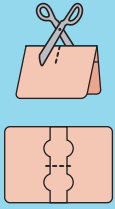
貼り方

はじめに、真ん中のフィルムのみをはがし、首筋に貼ります。次にのこりのフィルムをはがし、切り込みより上部を首に、下部を肩に伸ばしながら貼ります。



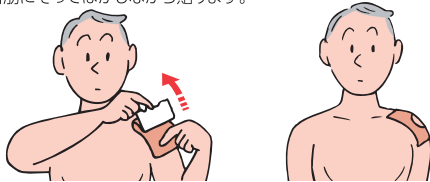
肩

切り込み方



貼り方

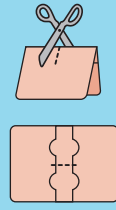
可動部位に切り込みがあたるようにのせます。はじめに、真ん中のフィルムのみをはがして患部に貼ります。次に、どちらか片側のフィルムを、肩筋にそってのがしながら貼ります。さらに、のこりのフィルムをゆっくりはがしていき、肩のカーブや動きに合わせて十分に伸ばしながら貼ります。



「ひじ・手首」編

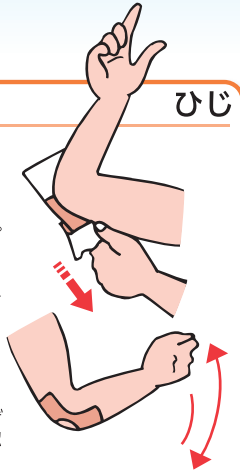
ひじ

切り込み方



貼り方

可動部位に切り込みがあたるようにのせます。ひじをかくるく曲げた状態で貼ります。はじめに、真ん中のフィルムのみをはがして貼ります。次に、まずどちらか片側のフィルムを、体にそってのがしながら貼ります。

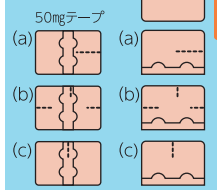


さらに、のこりのフィルムをはがしていき、ひじ・腕の丸みにそわせながら貼ります。皮膚になじむまでしばらく押さえ、最後に優しくひじを曲げ伸ばして、しっかり貼れているか確認します。

手首・手関節

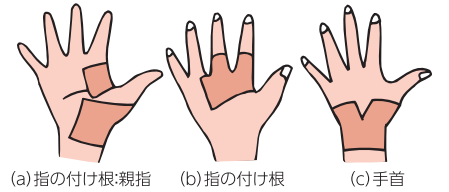
切り込み方

100mgテープはまず半分に切り、それから切り込み。100mgテープをいれます。50mgテープはそのまま使用します。

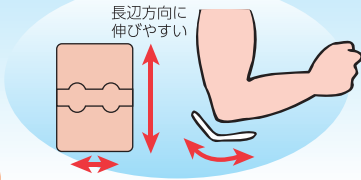


貼り方

フィルムをはがしていき、手の関節やカーブ、動きに合わせて十分に伸ばしながら貼ります。



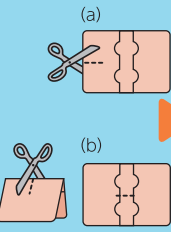
いろいろな貼り方



「ひざ・足首」編

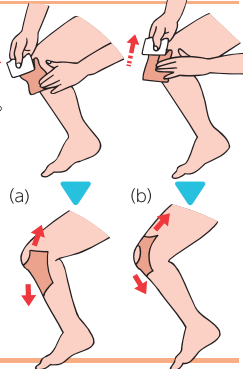
ひざ

切り込み方



貼り方

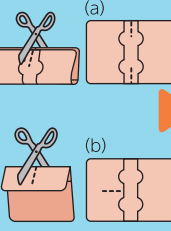
可動部位に切り込みがあたるようにのせます。ひざをかくるく曲げた状態で貼ります。はじめに、真ん中のフィルムのみをはがし、ひざに貼ります。次に、片側のフィルムを体にそってのがします。



さらに、のこりのフィルムをはがしていき、ひざのカーブにそわせながら貼ります。皮膚になじむまでしばらく押さえ、最後に優しくひざを曲げ伸ばして、しっかり貼れているか確認します。

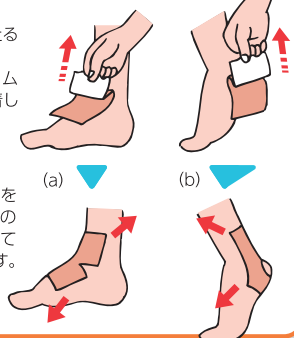
足首

切り込み方



貼り方

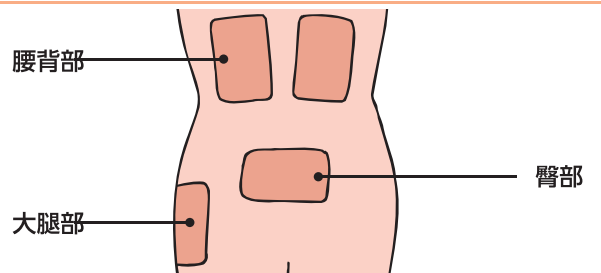
可動部位に切り込みがあたるようにのせます。はじめに、真ん中のフィルムのみをはがして貼る、接着します。



次に、のこりのフィルムをはがしていき、足の甲や踵のカーブや動きに合わせて十分に伸ばしながら貼ります。

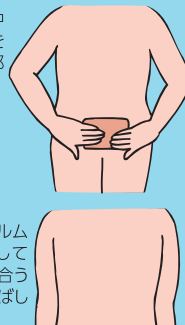
「腰・背中」編

腰背部、臀部、大腿部



腰部 【よこに貼ると良い】

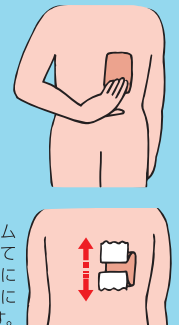
はじめに、真ん中のフィルムのみをはがし、腰の患部中心に貼ります。



次に、のこりのフィルムを片側ずつはがしていき、腰の動きに合うように横方向に伸ばしながら貼ります。

背部 【たてに貼ると良い】

はじめに、真ん中のフィルムのみをはがし、背中の患部中心に貼ります。



次に、のこりのフィルムを片側ずつはがしていき、背中の動きに合うように縦方向に伸ばしながら貼ります。